

第1回

魚沼市新ごみ処理施設 整備検討委員会資料

令和7年1月10日（金）
（魚沼市市民福祉部生活環境課作成）

【目次】

1. 新ごみ処理施設整備検討委員会の進め方	・ ・ ・ ・ ・	3
2. これまでの経過・建設予定地	・ ・ ・ ・ ・	4
3. 施設規模等想定・環境保全対策	・ ・ ・ ・ ・	6
4. 魚沼市のごみ処理等状況	・ ・ ・ ・ ・	8
5. 事業スケジュール	・ ・ ・ ・ ・	11
6. これまでの説明会等であった主な質疑応答	・ ・ ・ ・ ・	12

■ 新ごみ処理施設整備検討委員会の進め方

新ごみ処理施設整備検討委員会の進め方、協議・検討事項につきまして、次のとおり考えております。

項 目	内 容
■設置目的	市が計画している新ごみ処理施設の整備に関し、環境、技術面、経済性その他の必要な事項について検討し、及び協議することを目的とする。
■協議・検討事項	1. 新ごみ処理施設の処理規模、処理方式に関すること 施設規模（可燃、不燃粗大）、処理方式、処理対象物整理（分別・収集区分含む）など
	2. 新ごみ処理施設の整備及び運営手法に関すること 施設配置、出入口位置・動線、事業スケジュール、P F I 等導入検討（整備・運営）など
	3. 新ごみ処理施設の環境保全及び公害防止対策に関すること 排ガス自主規制値、騒音・振動・悪臭対策、煙突位置・高さなど
	4. その他新ごみ処理施設整備のために必要な事項に関すること 余熱利用方針、市民・小学生向け環境学習、簡易避難所等防災機能など

■ これまでの経過

時 期	主 な 内 容
平成7(1995)年度	エコプラント魚沼稼働開始
平成26(2014)年度	2市1町（魚沼市・南魚沼市・湯沢町）で「新ごみ処理施設建設に関する基本合意書」を締結し、広域処理化への検討を開始
平成27(2015)年度	2市1町新施設建設候補地一般公募を実施
平成29(2017)年度	国際大学周辺（南魚沼市国際町）を2市1町新施設の暫定建設候補地とする
令和元(2019)年度	暫定建設候補地を白紙撤回
令和2(2020)年度	2市1町による「新ごみ処理施設建設に関する基本合意書」を解消し、「魚沼市」と「南魚沼市・湯沢町」それぞれで施設整備をするという新たな方針に関する合意書を締結
令和4(2022)年度	現施設を延命化し、令和16(2034)年度頃に新施設を建設（建替え）する計画としていたが、令和13(2031)年度を稼働開始目標として新施設を建設する方針へ転換
令和5(2023)年度	市民福祉部生活環境課内に新ごみ処理施設整備室を設置 立地自治会より同意いただき、現施設隣接地を建設予定地とする方針を決定 建設予定地測量・地質調査、施設基本計画・設計策定等（PFI等導入可能性調査含む）業務委託を発注
令和6(2024)年度	建設予定地地歴調査業務委託を発注 循環型社会形成推進交付金の内示を受ける 第1回魚沼市新ごみ処理施設整備検討委員会開催

■ 建設予定地



■ 施設規模等想定

時 期	新施設(整備構想時点)想定	現施設(エコプラント)
稼働開始年度	令和13(2031)年度	平成7(1995)年度
施設規模※★	焼却：46 t／日 不燃粗大：6.6 t／日	焼却：95 t／日 不燃粗大：23 t／日
焼却方式※	ストーカ式 又は 流動床式	流動床式
運転方式※	准連続運転方式 (16時間／日)	准連続運転方式 (16時間／日)
処理区域	魚沼市全域	魚沼市全域 南魚沼市大和地域

※新施設想定は既発注済みの「施設整備基本計画」において、計画案が決定される予定
 整備構想 → 令和6年3月策定の「魚沼市新ごみ処理施設整備構想」をいう

★循環型社会形成推進交付金等に係る施設の整備規模について（R6.3.29付環循適発第24032920号廃棄物適正処理推進課長通知）に基づく算定施設規模

→ 焼却：44 t／日（年間290日運転）・不燃粗大：7.3 t／日

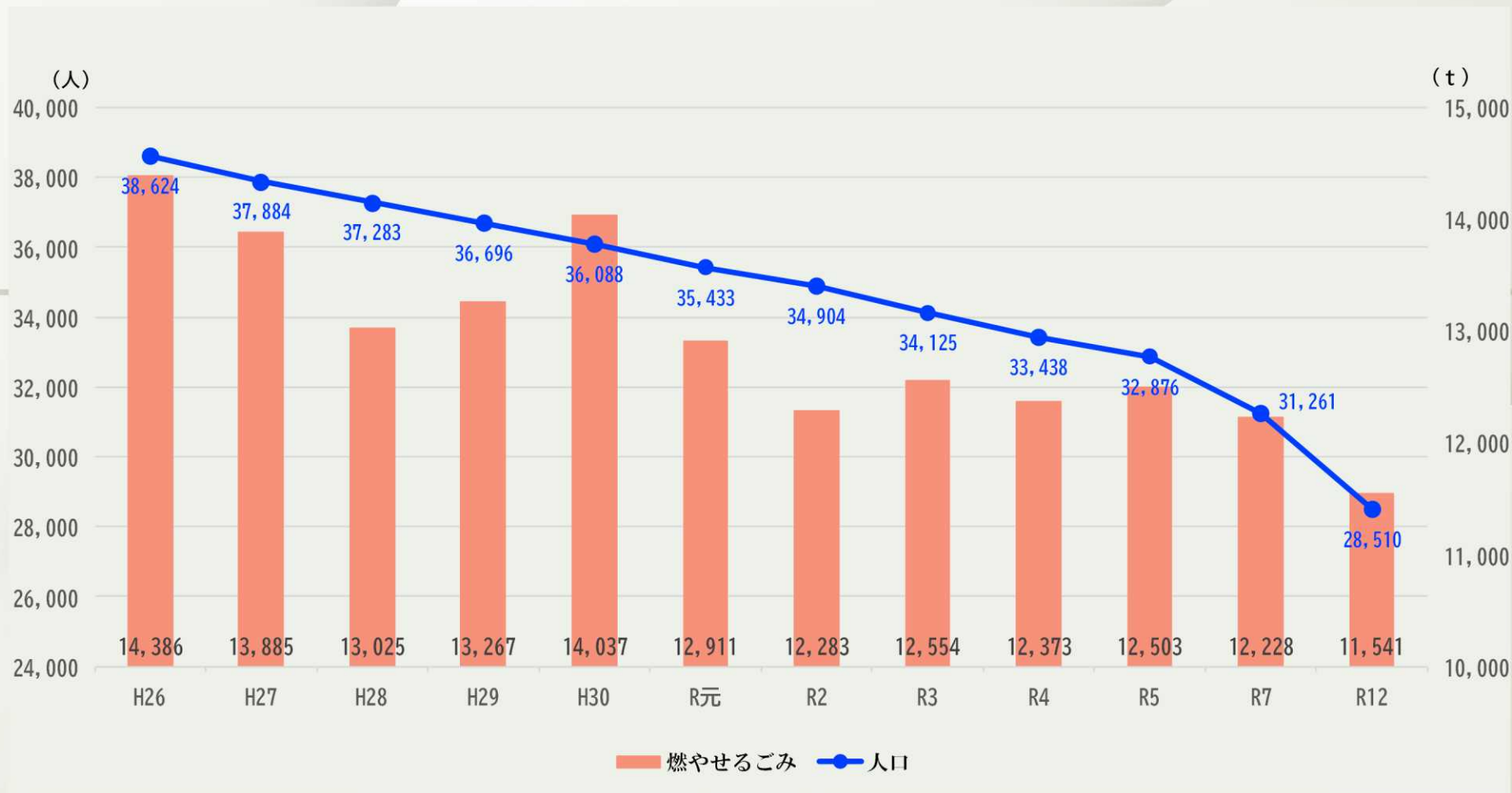
ただし、令和9(2027)年度以前に着工する場合は、同通知以前の基準で算定可としており、
 その場合の施設規模は、焼却：51 t／日（年間260日運転）・不燃粗大：7.3 t／日となる。

■ 環境保全対策

項 目	内 容
① 排ガス対策	新ごみ処理施設から発生する排ガスは、大気汚染に係る基準値はもちろんのこと、さらに厳しい独自（自主）基準値を設定し、施設運営で厳守するとともに、定期的に測定状況を公表します。
② 排水対策	新ごみ処理施設にて発生した排水は、場内の排水処理設備にて処理した処理水を焼却工程の減温水として利用し、公共水域へは排出しないものとします。 また、雨水は雨水排水設備にて集水し、公共水域へ放流します。
③ 騒音対策	大きな騒音が発生する設備・機械装置は、防音構造を施した室内に設置する、防音材を巻きつける等の必要な騒音対策を講じることで外部への音漏れを防ぐものとします。
④ 振動対策	大きな振動が発生する設備・機械装置は、独立基礎や防振装置等の必要な振動対策を講じることで基準値を満足するようにします。
⑤ 悪臭対策	施設内で発生する臭気については、ごみピット内を常時負圧に保つことや、炉内で臭気を燃焼用空気として利用することのほか、脱臭装置の設置、風除室のような物理的に外部との接触を少なくするための空間作り等の必要な臭気対策を講じることで、外部への漏洩を防ぐものとします。
⑥ 災害対策	地震や浸水などの災害時においても、災害廃棄物を含めごみ処理を安全・安定的に継続できるような対策を講じるとともに、緊急時には周辺地域の災害対応を担えるよう検討を進めます。

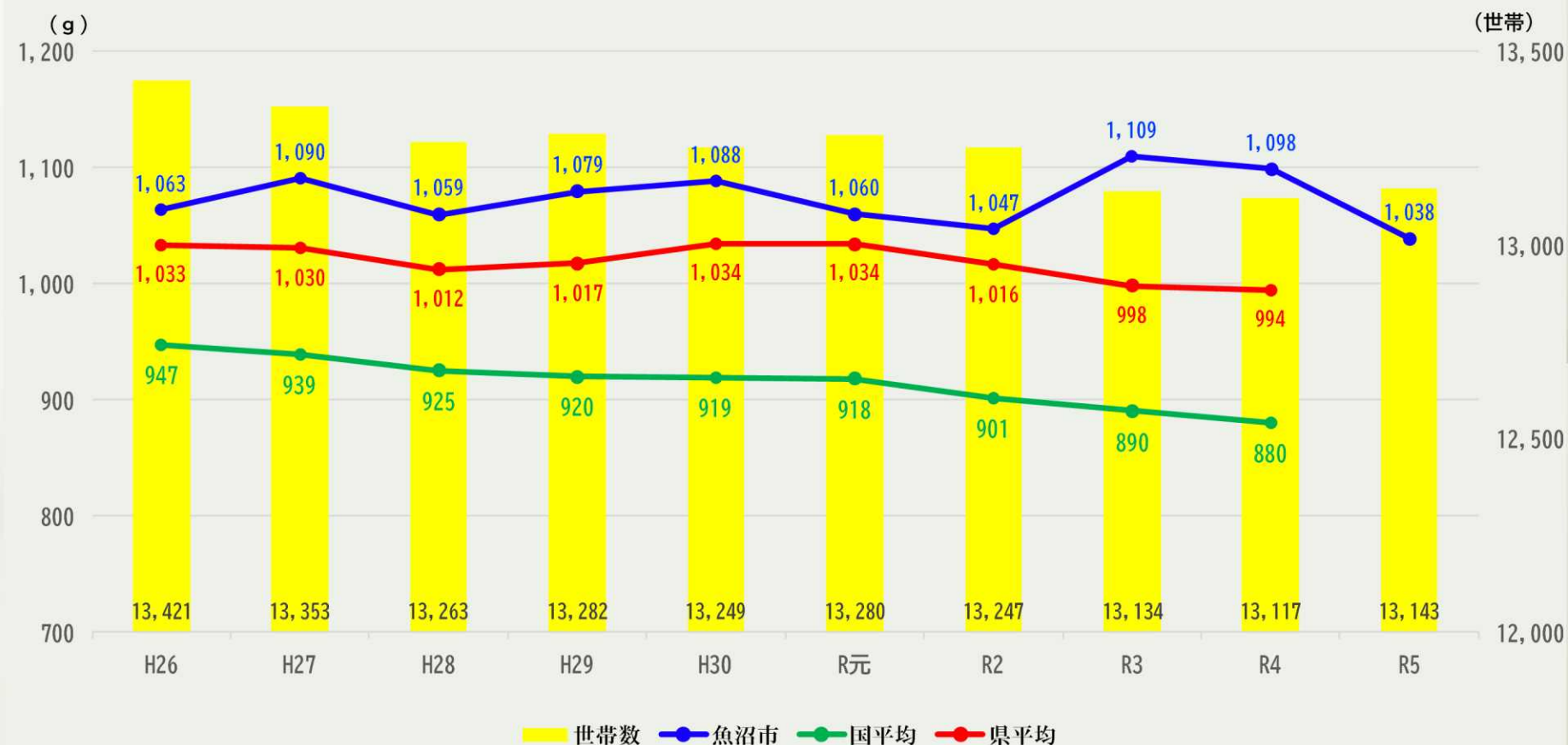
■ 魚沼市のごみ処理等状況

燃やせるごみと人口の推移《魚沼市分》

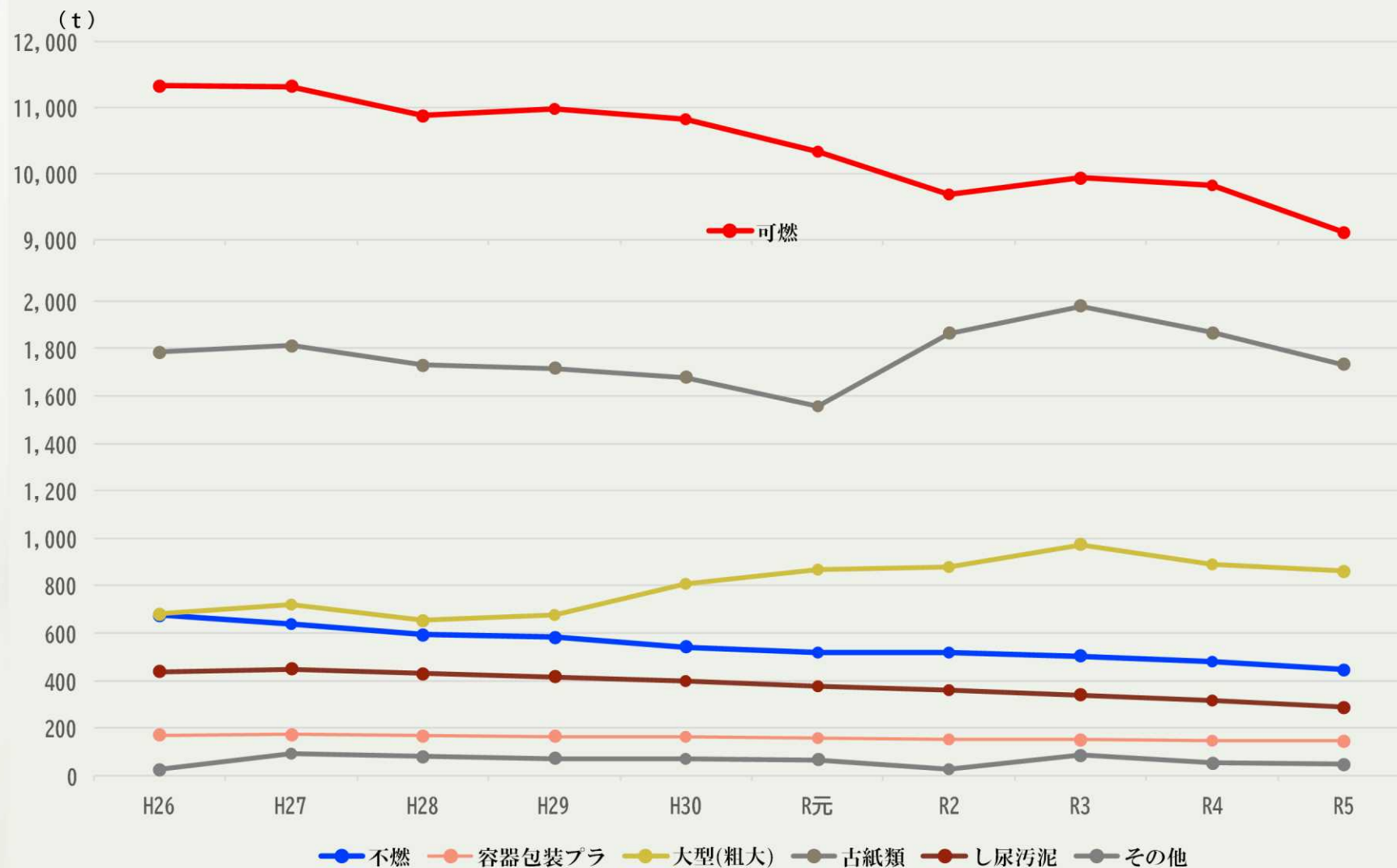


※令和7・12年度の人口は「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」（国立社会保障・人口問題研究所）より引用

家庭ごみ1人当たりの排出量と世帯数の推移《魚沼市分》



廃棄物区分別収集・搬入量の推移《魚沼市分》



■ 事業スケジュール

	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	R9年度 (2027)	R10年度 (2028)	R11年度 (2029)	R12年度 (2030)	R13年度 (2031)	R14年度 (2032)	R15年度 (2033)
施設整備検討委員会										
施設整備基本計画・設計 P F I 等導入可能性調査										
生活環境影響調査										
都市計画変更手続き										
公告～事業者選定										
新施設整備工事・監理										
エコプラント魚沼解体 設計・工事・監理										

■ これまでの説明会等であった主な質疑応答

立地自治会等との協議、説明会の場であった主な質疑応答を以下のとおりまとめました。

No.	質問・意見等	回答
1	建設予定地は、ハザードマップ上で浸水区域内となっているが、建設することの問題はないのか。	ハザードマップにおける浸水区域内であっても、建設すること自体に法的な制限はありません。ただし、同区域に建設することとなれば、当然に「必要な対策」が求められるため、想定される浸水深さに応じた対策（止水板や2階以上への電源設備設置、用地盛土など）について、確保すべき安全目標の設定など十分な検討を行い災害に強い施設となるよう努めてまいります。
2	塩素系（消毒液）のようなにおいがする。	施設内外で確認しましたが、ご指摘の状況は確認できませんでした。 処理過程で焼却時に塩化水素が発生しますが、消石灰などの薬品を使用し、大気への排出を抑制しています。 なお、定期的に周知している排ガス測定結果で「塩化水素」がありますが、国規制基準値に対し概ね70分の1程度の低い濃度で推移しております。
3	風の向きでごみのにおいがする。	施設から発生する臭気を完全に防ぐことができず、ご迷惑をお掛けし、申し訳ございません。 施設では脱臭装置や消臭剤噴霧のほか、気圧を低くしたり、出入口のエアーカーテンにより外部へにおいが出ることを極力抑えるように対策しております。今後も施設内外の点検強化など、少しでもにおいを低減できるよう日々改善に努めてまいります。

No.	質問・意見等	回答
4	汚泥を焼却しているようだがその影響は。	汚泥も可燃ごみとともに焼却していますが、特有のにおいが発生するということはなく、施設全体で臭気対策をしております。
5	臭気測定の結果は分かったものの、夏場の夜8～9時頃に一番においを感じる。その時間帯での測定も考えてもらいたい。	測定業者にも今の話を伝え、サンプルの採取時間を調整した中で次回の測定に向け準備したいと思います。 【参考】 現施設周辺で臭気測定を行い、結果は参考となる新潟県規制基準値を下回るものとなりましたが、ご意見の時間帯も含め今後も条件を変えながら測定を行い、状況把握に努めてまいります。
6	機械の音や鉄がぶつかり合うガチャガチャなどの音がうるさい。	重機使用によるごみ移動や大型ごみ処理でのコンベア稼働など、ご指摘のとおり機械音が発生する作業があります。ごみ量にもよりますが、極力短時間で作業を終えるよう手順等を改めて確認し、改善に努めてまいります。なお、現施設周辺で騒音測定を行い、結果は参考となる環境基準値を下回るものとなりましたが、今後も条件を変えながら測定を行い、状況把握に努めてまいります。
7	仮に、新施設を建設するとなれば、臭いや音の対策は万全となるか。	技術的に進化していることや、風除室を作って物理的に区切ることなど設計の中で必要な対策を講じていくことで十分に対応可能と考えています。糸魚川市など最近建設された施設の視察や、今後県内でも複数の団体に建設が予定されていることから、最新の環境対策や技術を採用しやすい環境にあると考えております。

No.	質問・意見等	回答
8	環境測定や排ガス測定は、どのように行っているのか。また、場所はどこか。	大気汚染防止法など関係法令に基づく排ガスやダイオキシン類と、施設内の作業環境の測定を行っております。その他は、焼却灰を最終処分場（山形県・福島県）へ搬入する際に必要な焼却残渣分析や放射性物質測定などを行っております。なお、排ガス測定については、煙突途中の採取口から検体を採取しております。
9	排ガス測定は、外部の専門機関が決まった日に煙突途中の採取口から採取して測定するということでしょうか。	ご質問のとおりです。 ※専門機関による調査結果は、エコプラントにおいて閲覧できるようになっています。
10	けむり（排ガス）が体へおよぼす影響はないのか。	排ガスについてはエコプラント稼働開始時から、項目によっては関係法令に基づく基準値よりも厳しい市独自基準値を設定し、その基準内で運営を継続しております。 今後も引き続き、測定結果は区の皆様方へ毎月お知らせするとともに、安心・安全を最優先として運営させていただきます。
11	排ガスなど基準値を下回っても、蓄積していくことで基準値に達するということはないのか。	基準値は「人の健康を保護し、生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準」として定められ、大気汚染と人の健康影響との関係や、人への曝露の短期的・長期的影響に関する様々な科学的知見に基づき、設定されております。 現施設においても基準値は厳守しており、仮に新施設の建設となれば、より厳しい基準での運営を求められることとなります。

No.	質問・意見等	回答
12	排ガス測定結果をリアルタイムでホームページに公表することはできないのか。	施設ではリアルタイムにて測定していますが、その結果についてホームページで公表するシステムになっておりません。 今後、新施設建設となった場合、できるかどうかを検討していくことになると考えております。
13	日によって、時間によって、常に排ガス測定値は変化していくと思うが、基準値から外れる瞬間はないのか。	基準値から外れないように機械（設備）でごみの焼却量をコントロールしているため、基準値を超えることはありません。値が上昇した時は、焼却量を抑える仕組みとなっております。
14	新施設の規模は約半分と小さくなるが、なぜか。	人口減少が見込まれていることに加え、南魚沼市大和地域のごみ処理が南魚沼市・湯沢町の施設完成後に移管されることも要因となります。
15	新施設の建設位置は、どこを予定しているのか。また、建設後のエコプラントはどうなるのか。	ヘリポートやゲートボール場がある用地に建設を予定しており、新施設建設後、現在のエコプラントは解体する計画となっております。